

U.S. Indicators

発表日:2024年9月18日(水)

米国 8月小売売上は個人消費の堅調さを示す

～7-9月期の実質個人消費は前期比年率+3%台に加速へ～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年8月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.1%（前月同+1.1%）と市場予想中央値（ブルームバーグ集計）の同▲0.2%に反して増加した（筆者予想同+0.2%）。7月に高い伸びとなった後にもかかわらず、拡大を続けた。

業態別の前月比動向では、主要13業態のうち7業態（前月3業態）が縮小した一方、5業態（前月10業態）が拡大した。前月に高い伸びとなった自動車・同部品、家具、家電、一般小売のほか、価格値下がりの影響を受けたガソリンスタンド、悪天に備えた買いだめの反動で食品・飲料、例年よりも高い気温で衣料品が減少に転じた。さらに、建設資材、薬局、飲食店が鈍化した。一方、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売、無店舗小売が増加に転じた。

8月小売・飲食サービス売上高（前月比+0.05%、前月同+1.15%）の主要13業態の前月比寄与度をみると、押し下げ寄与の業態は、大きい順に、ガソリンスタンド（▲0.09%、同+0.04%）、食品・飲料（▲0.08%、同+0.11%）、衣料品（▲0.03%、同0.00%）、百貨店を含む一般小売（▲0.03%、同+0.09%）、自動車・同部品（▲0.01%、同+0.83%）、家具（▲0.01%、同+0.03%）、家電（▲0.01%、同+0.01%）、飲食店（▲0.01%、同+0.03%）となった。

一方、押し上げ寄与の業態は、大きい順に、無店舗小売（+0.24%、同▲0.08%）、薬局（+0.04%、同+0.09%）、その他小売り（+0.04%、同▲0.02%）と続いた。なお、建設資材（前月+0.09%）、スポーツ用品・本・趣味用品（同0.00%）は、0.00%寄与となった。

他の分類では、自動車を除く小売・飲食サービス売上高が前月比+0.1%（前月同+0.4%）と市場予想中央値の同+0.2%を下回った。一方、GDPの算出に使用される自動車・ガソリン・建材・飲食店を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.3%（前月同+0.4%：速報同+0.3%）と減速したが市場予想中央値と一致した。

さらに、小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+0.2%（前月同+0.4%）と減速した。ただし、コア小売売上高は、6、7月合計で0.1%上方修正されたほか、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+4.9%

（前月+4.3%）とプラス幅を拡大、7-9月期も前期比年率+4.3%と4-6月期の同+3.1%から加速しており、堅調さを維持した。

7-9月期の実質個人消費は、政策への懸念の強まりや先行き不安の高まり、節約志向の強まりなどの影響を受けながらも、実質給与所得の増加、企業の販促、資産効果等を背景に、前期比年率+3.3%（4-6月期同+2.9%）と堅調さを維持すると予想される。

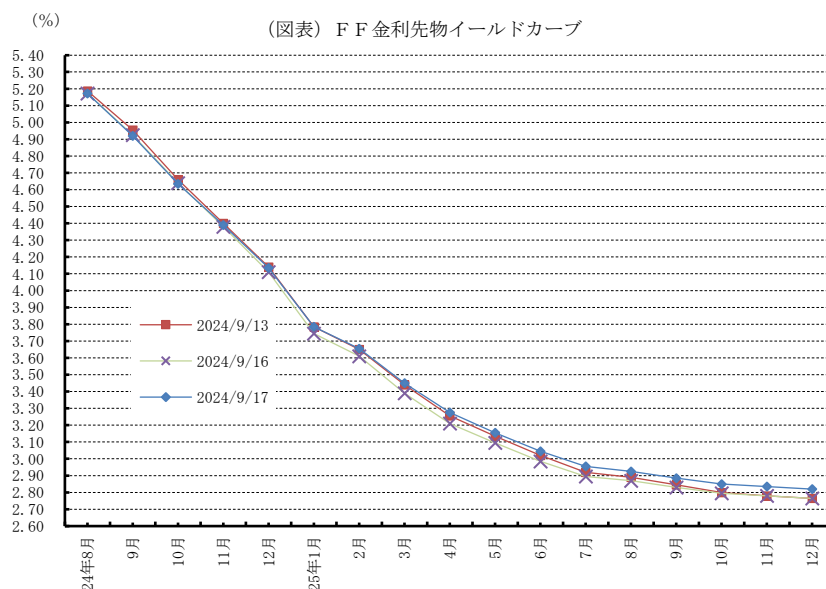
小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
23/11	+0.1	(+4.0)	▲0.0	+0.4	+0.6	+2.4	▲3.6	▲0.3	+1.0	▲3.7
23/12	+0.4	(+5.5)	+0.3	+0.3	+0.5	▲1.1	▲1.9	+0.5	+1.5	▲0.8
24/01	▲1.1	(+0.3)	▲0.8	▲2.3	▲2.2	+0.1	+3.2	▲0.6	▲0.7	▲1.4
24/02	+0.7	(+2.1)	+0.3	+2.0	+2.2	▲2.2	+2.9	+0.2	▲0.0	+1.9
24/03	+0.5	(+3.6)	+0.6	▲0.4	▲0.1	▲2.1	▲2.6	+1.0	▲2.4	+0.8
24/04	▲0.2	(+2.8)	+0.1	▲0.4	▲1.0	+1.8	+2.6	▲0.2	+2.3	+1.6
24/05	+0.2	(+2.6)	+0.0	+0.8	+1.1	+0.9	+1.6	+0.0	+1.3	▲2.2
24/06	▲0.3	(+2.0)	+0.5	▲2.2	▲3.6	+0.6	▲1.5	+0.5	+0.1	▲2.1
24/07	+1.1	(+2.9)	+0.4	+3.3	+4.4	+1.7	+1.1	+0.4	+0.1	+0.5
24/08	+0.1	(+2.1)	+0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.7	▲1.1	+0.2	▲0.7	▲1.2

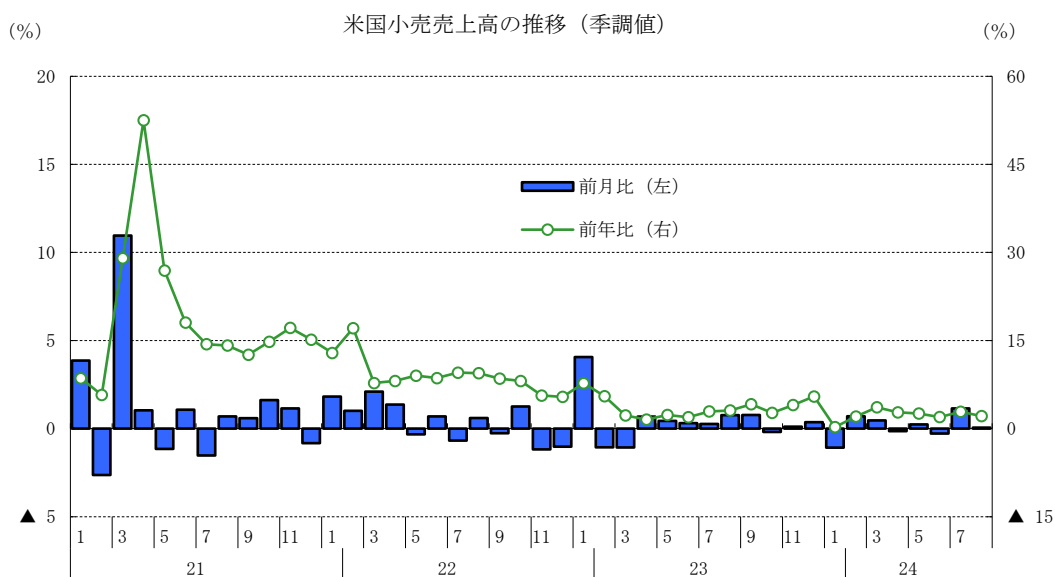
(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

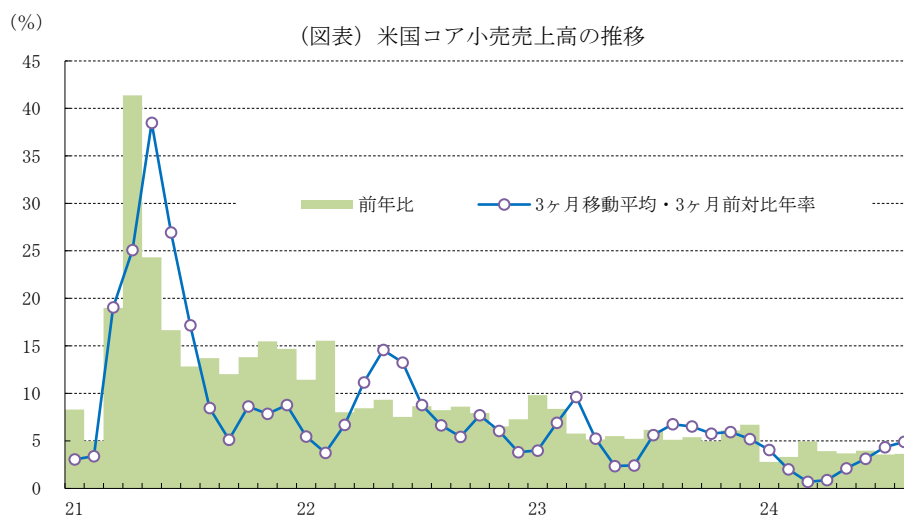
*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。



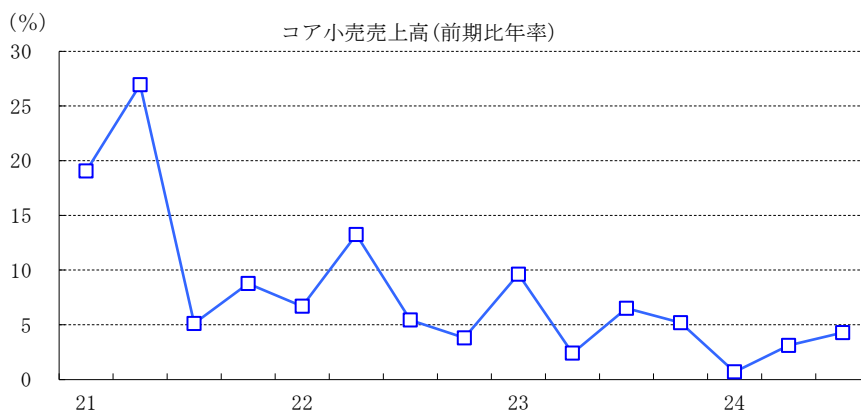
(出所) Bloombergより第一生命経済研究所作成



(出所) 米商務省



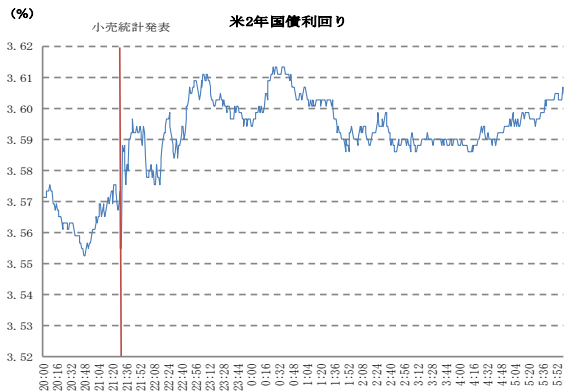
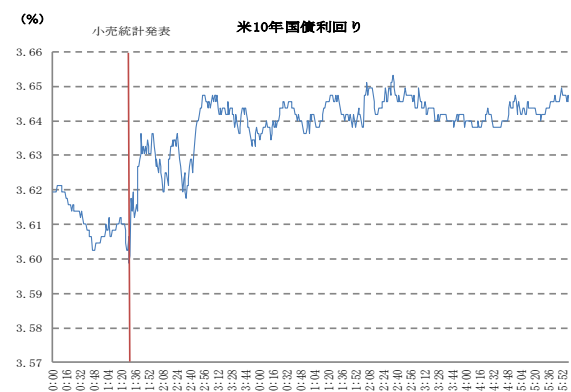
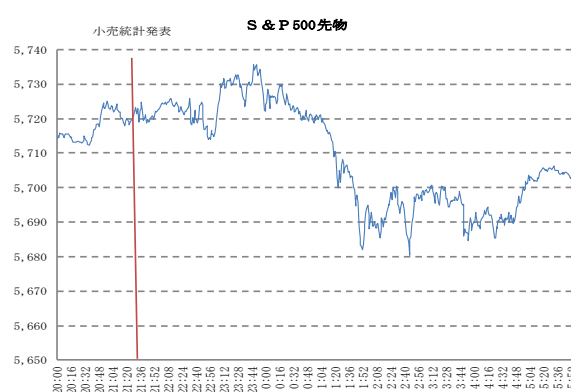
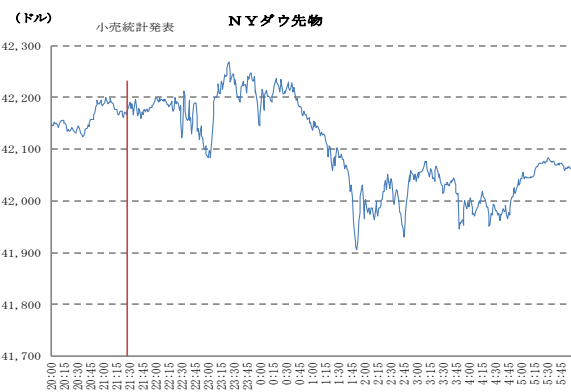
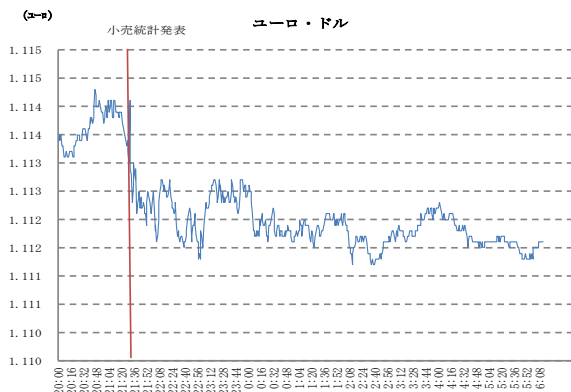
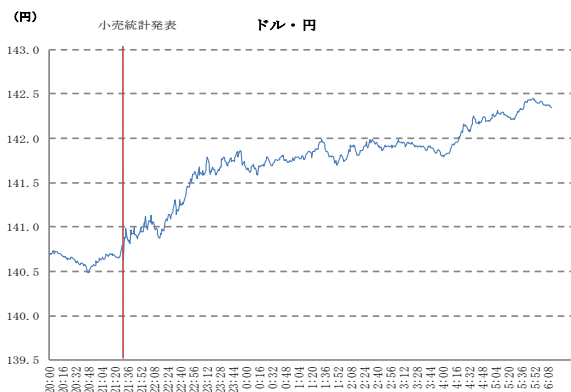
(出所) 米商務省



(出所) 米商務省データより作成。

(注) コア小売=建設資材・ガソリン・自動車を除いた小売売上高

(四半期)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

